

T O K Y O
D I S N E Y
R E S O R T[®]

東京ディズニーリゾート[®] 体験学習プログラム

教員用ガイド

—— 学習シート ——

みんなで計画をたてて実践しよう！



・ ・ ・ ・ ・ はじめに ・ ・ ・ ・ ・

映画、テレビ、テーマパークと、さまざまな形を通して世界中の人々に、夢と感動の体験を提供し続けたウォルト・ディズニー。彼が多彩な活動のなかで一貫して大切にしてきたのは、積極的に未知の世界をたずね、自発的に学ぶことの楽しさを若い世代に伝えていくことでした。

1983年にオープンした「東京ディズニーランド®」、そして2001年オープンの「東京ディズニーシー®」。この2つのディズニーテーマパークもその精神を受け継ぎ、開園以来多くの学校来園をお迎えしてまいりました。

小・中学校では2002年度より、高等学校では2003年度から「総合的な学習の時間」が本格的に導入されました。そのねらいは、「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること」「学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の在り方・生き方を考えることができるようにすること」などとされ、その学習活動を行うにあたっては、社会体験、観察・実験・実習、調査・研究、発表や討論、体験的な学習、問題解決的な学習、グループ学習などを積極的に取り入れるべきとされています。

「東京ディズニーリゾート®体験学習プログラム」は、2つのディズニーテーマパークを現在の学校教育の重要課題である「総合的な学習」の場、「体験学習」の場、として活用していただく際のツールとして、東京ディズニーリゾートがオリジナルで開発した支援プログラムです。「総合的な学習の時間」の教材としてもご利用いただけるよう、配慮されています。

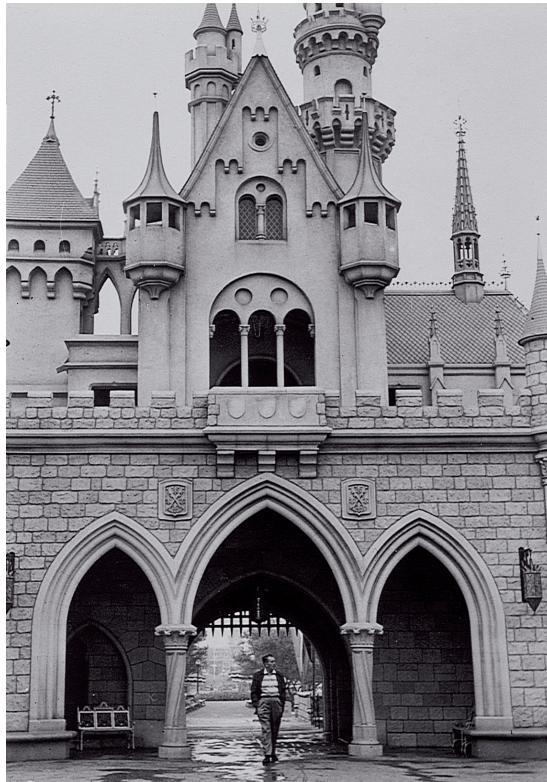
生徒の皆様へのご指導の一助として、お使いいただければ幸いです。

✧✧ウォルト・ディズニーがディズニーランド創設に込めた思い

1928年、ミッキーマウスのハリウッド映画デビューをきっかけに華開いた「ディズニー」の世界。創始者であるウォルト・ディズニーは、白雪姫やシンデレラ、ピノキオなど、世界の名作童話を次々とスクリーンに蘇らせ、子供から大人まで世界中の人々に感動を贈り続けました。

人や動物はもちろん、植物や身の回りの物にまで、すべての登場人物に個性や感情を与え、美しい映像や音楽とともに語った楽しい物語。いいことばかりではない、ときには誰かに裏切られたり、失敗したりしながらも、そこから何かを学びとり、成長していく等身大の主人公たち。単なるドタバタ喜劇ではなく、そこには必ずストーリーがあり、メッセージが込められています。ここに、ディズニー作品が時代を越え、文化を越えて多くの人々に愛され続けてきた理由があります。

さらにウォルトは、そうした映画やアニメーションの世界を、私たちの住む三次元、つまり現実の世界で体験してもらおうと、壮大な構想に着手します。それがディズニーランドです。1953年、ウォルトはディズニーランドの基本理念を次のように語っています。





WALT DISNEY

『ディズニーランドの構想はごく単純なものであり、それは、人に幸福と知識を与える場所である。親子が一緒に楽しめるところ。お互いの仲間内で喜びを分かち合えるところ。教師と生徒が物事を理解したり学びとるためのより良い方法を見つけるところ。年配の人たちは、過ぎ去った日々の郷愁にふける、若い世代は未来の挑戦に思いを馳せる。ここには自然と人間が織りなす数々の不思議が私たちの眼前に広がる…。(中略) こうした夢と現実をディズニーランドはユニークな方法で再現し、それを勇気と感動の泉として世界の人々に贈るものである。』

この壮大な理念を受け継ぎ創設された「東京ディズニーランド®」、そして「東京ディズニーシー®」。ウォルトの言葉通り、この2つのディズニーテーマパークもまた、学ぶ楽しさや、愛や友情、思いやりといった、生きていく上で必要なことを凝縮して再現した場所です。あまりにも普通のことであるために、日常では忘れられがちな、“大切な何か”を見つけることができる場所である、と言い換えることもできるでしょう。子供たちの“生きる力”“自ら学ぶための力”を育てるという体験学習の大きな目的は、まさにディズニーテーマパークの理念そのもののなのです。

ディズニーテーマパークは、全体がひとつの巨大な舞台（ステージ）です。そこで働く人々をキャスト（ショーの出演者の意味）、そこに訪れるすべてのお客様をゲスト（ショーに訪れるお客様の意味）と呼んでいます。キャストとゲストが一体となってディズニーという夢の舞台を創りだしています。

✧ 学びの「場」としてのディズニーテーマパーク

21世紀を担う子供たちに求められている能力。それは、自ら問いに気づき、答えを見つける力です。“与えられた問題や課題に対していかに正確に答えるか”ということを主とする学習では、こうした能力を育むことは難しいことかもしれません。

しかし、人は本来そうした能力を生まれながらに持っています。何かを見て不思議だと感じる、もっと知りたいと思う。そうした「感覚」や「思い」が外への働きかけへとつながり、他者との相互作用が生まれます。そしてそのプロセスの繰り返しのなかで、人はまったく新しい知識を獲得したり、あるいは既存の知識を加工して新たな知恵を生みだしたりしているのです。

東京ディズニーリゾート®の2つのディズニーテーマパークは、子供たちのそうした能力を引き出す「場」、すなわち新しい知識が創造される「体験学習の場」であるということができます。

✧ “問いと答え”を自ら見つける力を養うために

初めての道を、地図なしではなかなか歩けないように、なんの準備もなく体験学習に送りだしても、子供たちにその本来の目的や意味を見いださせることは難しいものです。しかし、用意された体験から決められた答えを導くプログラムでは、「総合的な学習」で本来得べき学習効果は望めません。この体験学習プログラムは、ディズニーテーマパークという学習の場で、子供たちが無理なく楽しく、自分の力で“問い”そして“答え”を見つけることをめざしています。

その学習の手段としてご用意したテーマが「チームワーク」です。

このテーマの目的は「これがチームワーク」という解答をだすことではありません。「チームワーク」について考えるきっかけとなればと思っております。

子供たちが、お互いにコミュニケーションを取りながら、準備や計画や体験をすることで、いろいろな気づきを得ることができるでしょう。

体験学習プログラム

— 学習シート【みんなで計画をたてて実践しよう!】の活用法 —

本学習シートは、
体験プログラムのために作られたオリジナル教材です。
できるだけ自由に、かつ生徒の一人ひとりの個性を活かせるよう工夫されています。
学校での事前学習から実際の体験学習当日、
そして事後学習までを4フェーズに分け、
各フェーズごとに学習シートをご用意しています。

※このプログラムは、小学生・中学生を主な対象として作成しておりますが、使い方や内容への踏み込み方などにより、あらゆる年代層で活用していただけます。年齢や授業数などに合わせ、アレンジしてお使いください。

体験学習プログラムの流れ

Plan

準備編 教室で

学習の
ねらい

チームで意見交換をし、チームで目標を立てる。

Do

計画編 教室やディズニーテーマパークで

学習の
ねらい

マップを使いながら当日のスケジュールを決め、目標に向かって計画を詰める。

Check

体験編 教室やディズニーテーマパークで

学習の
ねらい

パーク体験を振り返り、計画通り実行できたか、気付いたことを書き出す。

Action

まとめ編 教室で

学習の
ねらい

チームの目標が達成できたか、チームで意見交換させてまとめる。

体験学習プログラム 学習シートの活用法

みんなで計画をたてて実践しよう！

Plan 準備編

学習シート — 東京ディズニーリゾート 体験学習

Plan みんなで計画をたてて実践しよう！ ①準備編

当日体験したいことを書き出してみよう

メンバーの名前を書こう・役割を決めよう

Tokyo Disneyland

- ① チームで目標を立てさせる。
- ② 当日の計画を立てさせる。
- ③ チームで意見交換させる。

Do 計画編

学習シート — 東京ディズニーリゾート 体験学習

Do みんなで計画をたてて実践しよう！ ②計画編

ガイドマップ

Tokyo Disneyland

- ① マップを使って場所を確認したり、時間の配分を考えたて、計画を詰めていく。
- ② チームで意見交換させる。

Check 体験編

学習シート — 東京ディズニーリゾート 体験学習

Check みんなで計画をたてて実践しよう！ ③体験編

このゲームは、みんなの力でクリアしよう！

Tokyo Disneyland

- ① ディズニーテーマパークで気づいたことや感じたことなどを挙げる。
- ② そこで見つけた“問い”、そして導き出した“答え”などを書き込む。
- ③ チームで意見交換させる。

Action まとめ編

学習シート — 東京ディズニーリゾート 体験学習

Action みんなで計画をたてて実践しよう！ ④まとめ編

check! 振り返りしよう！

チーム内みんなとアイデアを出して話し合ってみよう！

時間を守った

自分勝手に行動をしなかった

自分の意見をきちんと述べた

1: 大変だった 2: やさしかった 3: 大変だった 4: やさしかった

Tokyo Disneyland

- ① 体験を振り返り、目標を達成できたかを客観的にみる。
- ② チームで意見交換させる。
- ③ まとめを書き込む。